

■ 研究推進委員会 活動計画書

提出日：2018年11月30日

理事会承認日：2018年12月8日

| | |
|------------------------------------|---|
| 名 称 | 災害対応・復興支援・防災研究に係わる研究推進委員会 |
| 委員長 | 氏名（所属）：藤田直子（九州大学） |
| 幹 事 | 氏名（所属）：小林秀輝（九州大学） 連絡先 e-mail アドレス：huskers.hk@gmail.com |
| その他 構成員 | 氏名（所属）：選定中 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 過去に学会の復興支援活動や関連研究に携わった方（阪神淡路大震災・中越地震・東日本大震災・熊本地震など） ➤ 各支部の適任者 ➤ 造園協会等の適任者 |
| 目 的 | 日本造園学会における災害対応・復興支援・防災研究に係わる研究を推進することを本委員会の目的とする。本委員会は単独での研究推進を図ると共に、災害対応・復興支援・防災研究に係わる常置委員会(仮)とも連動し、学会として必要とされる「テーマ研究」を設定してこれを推進することで、戦略的に造園・ランドスケープ分野における災害対応・復興支援を広く国内外の学界・社会に位置づけることを目指す。また、構成員が研究を推進できる環境整備を重視し、大型研究費の獲得を目指す。 |
| 活動計画 及び 想定される 成果 (1年目) | <p>【活動計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去の震災（阪神淡路大震災・中越地震・東日本大震災など）の活動成果・研究を収集し、一元化する。 2. 様々な個々の災害対応の工夫を知恵として継承し、今後につなげるために整理する。 3. 災害対応・復興支援・防災研究に係わる常置委員会(仮)とも連動して、造園学会として必要とされる「テーマ研究」を設定し、本委員会にて研究を進める。 4. 公募型研究資金や民間研究助成への応募を行い、研究費の獲得を目指す。 <p>【想定される成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去の震災の活動成果と研究成果が収集・データベース化され、WEB上で検索可能なシステムが構築され、HP上に公開される。 2. 個々の災害対応で獲得された工夫(研究成果としては残らないが価値ある物事)が収集整理される。 3. 造園学会として必要とされる「テーマ研究」が設定され、研究が進む。 4. 研究費が獲得でき、研究活動を行いやすい環境が形成される。 |
| (2年目) | <p>【活動計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去の震災の活動成果と研究成果のデータベース化の情報量増加とWEBの精度を向上させる。 2. 個々の災害対応の工夫のデータベース化を行い、WEB上で検索可能なシステムを構築し、HP上に公開する。 3. 「テーマ研究」を継続して進める。 4. 公募型研究資金や民間研究助成への応募を行い研究費の獲得を目指す。 <p>【想定される成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去の震災活動成果・研究成果の情報量増加とWEBの精度が向上する。 2. 災害対応で獲得された工夫が収集・データベース化され、WEB上で検索可能なシステムが構築され、HP上に公開される。 3. 「テーマ研究」の成果が出される。 4. 研究費が獲得でき、研究活動が行いやすい環境が形成される。 |

